



堺シティオペラは

「堺シティオペラ 一般社団法人」は、大阪の堺市で「市民オペラ」として誕生し、今年で43年を迎えました。オペラの公演を始めた頃から海外の歌劇場やオペラ団体と一緒にオペラを作り、2006年には、日本のオペラ団体で初めてイタリアのプッチーニフェスティバルで、「蝶々夫人」を現地の歌手やオーケストラと一緒に公演しました。そして、その作品のすばらしさは『真実の日本の美しさ』として新聞やテレビでも大きく取り上げられ、とても喜ばれました。2019年には日本とオーストリアの国交150年を祝って、ウィーンで堺シティオペラオリジナルの「ヘンゼルとグレーテル」を行い、現地の皆さんに喜ばれました。同じ年、堺市に新しいホール フェニーチェ堺が完成し、出演者・スタッフ合わせて350人以上でオペラ「アイダ」を公演し、その大スペクタクルオペラは、日本全国から注目され、この年の大阪文化祭の最高の賞に輝きました。



第34回定期公演「アイダ」より

© ひかり写真室

知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日です」～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度

文化芸術による子供育成総合事業

- 巡回公演事業 -

堺シティオペラ

ルサルカ

人魚姫の物語



「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

さかい
堺シティオペラ



ルサルカ

にんぎょひめもの がたり
人魚姫の物語

はなし
どんなお話？

このオペラは、ヨーロッパに^{つた}伝わる^{ふる}古い^{はなし}お話を
基^{もと}に^{つく}作られた^{にんぎょひめ}人魚姫^{はなし}のお話です。

森^{もり}の中^{なか}の湖^{みずうみ}に住む^す水の妖精^{みず}ルサルカは、ある日^ひ湖^{みずうみ}を

訪^{おとず}れた王子様^{おうじさま}と出^で会^あい、一^{ひとめ}目^{こい}で恋^おに落ちました。

王子様^{おうじさま}を愛^{あい}するルサルカは『人間^{にんげん}になりたい！』と

願^{ねが}い、森^{もり}の魔女^{まじょ}の力^{ちから}で自^じ分^{ぶん}の声^{こえ}と引^ひき換^かえに人間^{にんげん}の

姿^{すがた}を得^えることができませんでした。

しかし、声^{こえ}を失^{うしな}ったルサルカは自^じ分^{ぶん}の気持^{きも}ちを

言葉^{ことば}で伝^{つた}えられず、ルサルカの愛^{あい}を感じ^{かん}じられない

王子^{おうじ}は結^{けっこん}婚^{しゅくえん}の祝^{まね}宴^{がいく}に招^{おうじょ}いた外国^{こい}の王女^{こい}に恋^{こい}をして

しまいます。魔法^{まほう}の力^{ちから}は偽^{いつわ}りの愛^{あい}の前^{まえ}では呪^{のろ}いと

な^なってルサルカと王子^{おうじ}を苦^{くる}しめます。

二人^{ふたり}はど^{どう}んな方^{ほう}法^{ほう}で呪^{のろ}いをとくのでしょうか？

オペラって？

にほんご
日本語にすると「歌劇」

1600^{ねん}年^うごろイタリ^うアで生まれました。

もの^{もの}がたり^{おんがく}おんがく^{すす}
「物語^{ものがたり}を音楽^{おんがく}で進^{すす}め

よろこ^{かな}かな^{いか}い^{たの}
喜^{よろこ}びも悲^{かな}しみも怒^{いか}りも楽^{たの}しさも

うた^{うた}ごえ^{せりふ}
歌^{うた}声^{ごえ}と台^{せりふ}詞^{ひょうげん}で表^{ひょうげん}現^{げん}します」

しゅつえんしゃ
出演者

しき
指揮・ヴァイオリン

えんしゅつ こうせい
演出・構成

ピアノ

ルサルカ

おうじ
王子

すいかい おう
水界の王

イエジババ

がいこく おうじょ
外国の王女

き せいいち
木の精Ⅰ

き せい に
木の精Ⅱ

き せいさん
木の精Ⅲ

ぶ たいかんとか
舞台監督

ふじむら さとし
藤村 知史

さかぐち まり
坂口 茉莉

おおむら ゆめ
大村 夢

なみかわ ひさみ
並河 寿美

そん よんて
孫 勇太

かたぎり なおき
片桐 直樹

こうじたに えり こ
糀谷 栄里子

よ も のりこ
四方 典子

かなおか れいな
金岡 怜奈

むらおか ひとみ
村岡 瞳

こばやし
小林 あすき

あおき かずお
青木 一雄

さくひんしょうかい
作品介绍

チェコのドヴォルザークが作曲^{さつきよく}したオペラ

本来^{ほんらい}のオペラの歌^か詞^しはチェコ語^ごで

書^かかれていますが、本^{ほん}日^{じつ}は堺^{さかい}シティオペラ

オリジナル^{にほんご}の日本^{うた}語^げで歌^{うた}います。





堺シティオペラは

1978年 市民オペラとして産声をあげ、2010年より 堺シティオペラ 一般社団法人として毎年オペラ定期公演を開催しています。創設当時から海外の歌劇場やオペラ団体との交流を盛んに行い、2006年にはイタリアのプッチーニフェスティバルで、日本の団体として初めて現地との共同制作による「蝶々夫人」を上演、真の日本の様式美の見事さなどが絶賛され、現地のメディアに大きく取り上げられました。2019年には、2013年の公演から6年後、現地大使館の後援を得て、数日に渡って2度目のウィーン公演（1. おこんじょうるり、2. ヘンゼルとグレーテル）を実現し、日本とオーストリア国交150年の友好を結ぶ公演を全うし、メディアからも高い評価を得ました。国内では、同年 堺市新設のフェニーチェ堺に於いて出演者・スタッフ総勢350人以上でオペラ「アイダ」を公演し、日本全国から注目を集め、その公演の成果として関西・大阪21世紀協会より大阪文化祭賞を受賞しました。



知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日です」～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度

文化芸術による子供育成総合事業

- 巡回公演事業 -

堺シティオペラ
ルサルカ

人魚姫の物語



「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

どんなお話？

このオペラは、ヨーロッパに伝わる古いお話を基に作られた人魚姫のお話です。

森の中の湖に住む水の妖精ルサルカは、ある日湖を訪れた王子様と出会い、一目で恋に落ちました。

王子様を愛するルサルカは『人間になりたい！』と願い、森の魔女の力で自分の声と引き換えに人間の姿を得ることができませんでした。

しかし、声を失ったルサルカは自分の気持ちを言葉で伝えられず、ルサルカの愛を感じられない王子は結婚の祝宴に招いた外国の王女に恋をしてしまいます。魔法の力は偽りの愛の前では呪いとなってルサルカと王子を苦しめます。

二人はどんな方法で呪いをとくのでしょうか？

堺シティオペラ



ルサルカ

人魚姫の物語

出演者

指揮・ヴァイオリン	藤村 知史
演出・構成	坂口 茉里
ピアノ	大村 夢
ルサルカ	並河 寿美
王子	孫 勇太
水界の王	片桐 直樹
イエジババ	糀谷 栄里子
外国の王女	四方 典子
木の精Ⅰ	金岡 怜奈
木の精Ⅱ	村岡 瞳
木の精Ⅲ	小林 あすき
舞台監督	青木 一雄

オペラって？

日本語にすると「歌劇」
1600年ごろイタリアの
フィレンツェで誕生
「物語を音楽で進め
喜怒哀楽も
歌声と台詞で表現します」

作品紹介

作曲者ドヴォルザークはチェコを代表する作曲者
オリジナルはチェコ語で書かれていますが、
本日は堺シティオペラオリジナルの日本語で歌います。

